

2020年(令和2年)8月31日(月曜日)

北海道新聞

鵠川新監督に小池氏

高校野球 元部長、来春から

【むかわ】町は30日、鵠川高野球部の鬼海将一監督(36)が来年3月で退任し、元同校野球部長の小池啓之氏(68)が新監督に就任すると発表した。小池氏は旭川龍谷高、旭川南高で監督としてチームを甲子園に導いた経験があり、鵠川高はベテラン指導者の下で新たなスタートを切る。

小池氏は、駒沢大を卒業後、旭川龍谷高のコーチ、監督として2度甲子園に出場。98年に故佐藤茂富さんが率いていた鵠川高野球部長に就任し、2002年に当時選手だった鬼海監督ら

を擁して春の甲子園に21世紀杯で出場した。同年に旭川南高に移り、07年春の甲子園に出場した。18年7月に同校の監督を勇退後は、高校野球の解説などを務めている。

鬼海監督が昨年11月に退任を決断したこと、町が鵠川高と後任を協議。竹中喜之町長が今年7月、小池氏に監督就任を打診し、承諾を得た。鬼海監督は3月末まで同校の指揮をとり、退任後は道外で教員採用試験を受けるという。

鵠川高で開かれた会見で小池氏は「打診された時は驚いたが、町長の熱意に心を動かされた。やるからには甲子園を目指し、生徒の人間力向上にも力を注ぎたい」と意気込んだ。

同校のコーチを経て、17年に監督就任後、胆振東部地震による野球部寮の損壊を乗り越え、2年連続で夏の南北北海道大会に導いた鬼海監督は「残りの半年も今までと変わらず、選手が目標とする甲子園に向け指導したい」と話した。

(小宮実秋)



鵠川高野球部の監督就任が決まった小池氏(左から2番目)と3月末で退任する鬼海監督(右端)